

# 教育のひろば

VOL. 96

2025年(令和7年) 3月5日発行

品川区教育委員会

〒140-8715 品川区広町 2-1-36

☎ 3777-1111(代表)



▲区HPへのリンク

- 目次 ▶教育委員コラム …… P1・2  
 ▶図書館システムの機能向上 …… P2  
 ▶伊藤小学校に特別支援学級を開設します …… P3  
 ▶不登校支援ポータルサイト ～ぶらっと～ を開設しました …… P3  
 ▶しながわ地域TEAM ACT(部活動地域移行) …… P4  
 ▶すまいるスクールとは …… P4



- ▶学校改築を推進しています …… P5  
 ▶83運動にご協力ください …… P5  
 ▶児童・生徒教育長表彰 …… P6  
 ▶全国大会出場助成 …… P6  
 ▶教育長杯 各スポーツ大会の結果 …… P6

## 教育委員 コラム

### 挑戦を支え、未来を創る品川の教育

品川区教育委員会 教育委員 濱松 誠

2024年、日本の出生数が70

万人を下回り、私たちは超少子化の現実に直面しています。同時に、技術の進化や国際情勢の不安定化などにより、未来を予測することが難しいVUCA(※1)の時代です。このような状況の中で、教育は子どもたちの未来を支えるだけでなく、地域や社会全体の未来を形づくる力です。教育こそ、国の根幹です。

「挑戦の反対は失敗ではなく、挑戦をしないこと」。形は人それぞれですが、すべての子どもが自分の力を信じ、失敗を恐れずに挑戦し、自分らしい成長を実現できる場をつくるのが、教育の大切な役割だと考えています。これまで区では、「学校選択制」「小学校教科担任制」「小中一貫教育」「市民科」などの取り組みを通じて、多様な学びの場を

整備してきました。これらの実績

は、子どもたち一人ひとりが自分に合った形で学び、成長できる環境を築いてきたと感じています。この基盤を一層発展させ、子どもたちの学びの可能性をさらに広げるためには、次に示すような新たな取り組みが必要です。

たとえば、「生成AI」を活用したICT教育。テクノロジーはこれまでの10年よりこれからの10年の方が進化していきます。学習を個別最適化、効率化し、教育の質を向上させるためには、生成AIを徹底的に活用することが必要です。

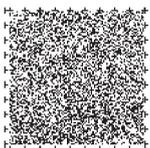
次に、市民科などを活用した「キャリア教育」。AIやデジタルだけでなく、地域・社会課題や親・先生以外の多様な大人に触れる機会を増やし、自分の未来を考え、選び取る力や人間力を養うこ

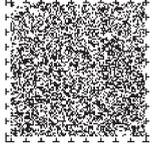
とが必要で

また、学校現場の「人手不足」への対応。もう待たないの状態です。教職員の働き方改革や外部の力のさらなる活用などを通じて、現場を支える仕組みを整えることが必要です。

これらを実現するには、大人自身が柔軟な発想を持ち、外部活用や規制改革など、失敗を恐れず挑戦する姿勢が求められます。区の教育が、子どもたちの挑戦を支え、未来を築く力となるよう、共に歩んでいきたいと思

※1 VUCA: Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性) の頭文字をとった、将来予測が困難な状態を指す造語



**教育委員  
コラム****豊かなこころを育む**

品川区教育委員会 教育委員

吉原 幸子



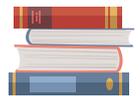
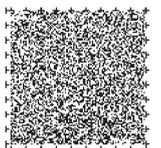
アメリカの海洋生物学者であり作家でもあったレイチェル・カーソンが姪の遺児の幼いロジャーのために書き残した「センス・オブ・ワンダー」という本があります。題名がとても心に響き、以前に読んだことがありました。レイチェル・カーソンは環境汚染問題について詳しく書き記した「沈黙の春」でも有名な作家です。

本の中で作者は「センス・オブ・ワンダー」について「神秘さや不思議さに目を見る感性」であると説明し驚きや感激、澄みきった洞察力や直観力が大人になるにつれて鈍ってしまったり、全く失ってしまうことから守ってくれる解毒剤になると述べています。ワンダーという言葉はこの本の中では驚異・感嘆・好奇心などという意味合いに用いられていると思います。不思議に思う、疑問

に思う、思索する、知りたいと思うなどの用いられ方があります。子どもたちは物事をあまり知らない幼いときには初めて出会う様々なことに驚き感激し、その経験を通してやがてたくさんを知りたい、自分のものにしていきたい、という興味が湧いてきます。成長していく過程でこの「ワンダー」を持ち続けてほしいというのが私の願いです。

「ワンダー」の内容は勉強内容であったり友人関係であったり自然現象であったりと多岐にわたっていて良いと思います。年齢と共に内容も変化していきます。疑問に感じたり納得できないことに対して即決しようと思わずに心の片隅に置いておくことで、やがては解決の糸口が見つかると思います。たくさん「ワンダー」の思考経験を通して子どもたちは宝物を

蓄え心豊かに成長していくことができます。そして私たち大人はそのことに対してでき得る範囲で一緒に考え共感し、時には助言をして楽しく貴重な時間を共に過ごしていくことができれば素晴らしいと思います。

**図書館システム  
の機能向上**

令和7年1月に図書館サービス向上のため、システムの更新および機器の入れ替え作業を行いました。

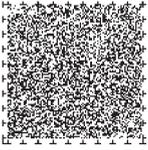
新機能は、利用カードのスマートフォン対応と読書記録の希望者への提供です。

これまで資料の貸出時には、利用カードを持参いただいていたが、スマートフォンで利用カードのバーコードを表示することができるようになりました。

また、読書記録ができる外部サイト「読書メーター」と図書館システムを連携させることで、読んだ本や読みたい本等を登録することができるようになりました。

詳しい利用方法は、図書館ホームページでご確認ください。

区立図書館HP  
へのリンク



**伊藤小学校に特別支援学級(自閉症・情緒障害特別支援学級)を開設します**

区では、特別な教育的ニーズのある児童・生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人ひとりの児童・生徒のもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、学級での観察・訪問や通級相談会等において専門家の診断、助言等を行っています。

また、特別支援学級の新設や既存施設の改修工事、支援員の配置等、特別支援学級、特別支援教室等における適切な指導および必要な支援の充実のため、環境整備や教材の充実を図っています。

令和6年度は、区立小学校で初めてとなる自閉症・情緒障害特別支援学級を宮前小学校に開設しました。基本的な学習・指導内容は通常の学級と同じですが、小集団での指導を通じて情緒の安定やコミュニケーション能力を育成する授業(自立活動)を行っています。

自立活動では、認知機能を高めるトレーニングや生活の振り返りを行い、自己理解・他者理解を深めたり、ソーシャルスキルや対処法を学んだりします。



令和8年4月には、伊藤小学校において、区立小学校で2校目となる自閉症・情緒障害特別支援学級を開設します。入級については、令和7年度の就学相談・転学相談で判断します。詳細は、今後実施する就学説明会や区のホームページなどでも案内します。

**不登校支援ポータルサイト「ぷらっと」を開設しました**

不登校児童・生徒および保護者の方が「どこに相談すればよいのだろう」「どのような支援策があるのだろう」と思ったときに、情報をまとめて分かりやすくお伝えするため、「不登校支援ポータルサイト「ぷらっと」」を開設しました。

「ぷらっと」には、いつでも、どこでも気軽に「ぷらっと」本サイトに立ち寄ってほしいという思いや、適切な支援につながる情報のプラットフォームになるようにという願いを込めています。

不登校ポータルサイトでは、左記のような情報を随時更新していきます。

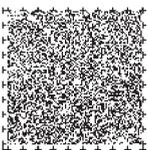
- 不登校に関するコラム
- 不登校支援情報(居場所や相談機関について)
- 新着イベントや自学自習用教材、その他リンクなど

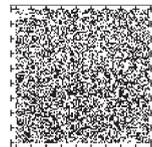
また、ポータルサイトの要約版として「不登校支援ガイドブック」を作成しました。

ポータルサイト上のデータもしくは、関係機関等に配布する冊子などをご確認ください。



ポータルサイトへのリンク▶





### しながわ地域 TEAM ACT

子どもたちの多様な部活動の機会の確保や専門性の高い指導の実現、教職員の業務負担の軽減を図るため、学校の部活動を地域へ移行する「地域部活動」の取り組みを令和5年度より進めています。

子どもたちが楽しさや喜びを感じられる場として、区立学校の5～9年生の児童・生徒を対象に3つの部（ダンス部・ラグビー部・ホッケー部）が活動しています。

今年度は、地域部活動の名称を「しながわ地域TEAM ACT」とし、各部活動のチーム名を決め、楽しく活動を行っています。

#### 【部活動紹介】

##### ■ Explosion Shinagawa(ダンス部)

◎活動期間

5月～7月(全10回)

◎活動場所

御殿山小学校

◎指導者

セガサミールクス

##### ■ 品川バッファロー(ラグビー部)

◎活動期間

9月～11月(全20回)

◎活動場所

JR東日本総合車両センター、  
荏原平塚学園

◎指導者

品川区ラグビーフットボール協会

##### ■ しながわペンギンズ(ホッケー部)

◎活動期間

12月～2月(全16回)

◎活動場所

大井ホッケー競技場

◎指導者

東京都ホッケー協会

今後も3種目を継続するとともに区の特徴を生かした体験機会を引き続き推進していきます。



## すまいるスクールとは

すまいるスクールは、区立学校施設を活用した小学生の放課後の居場所です。区立学校への在籍の有無にかかわらず、区内在住の小学生を対象に、学びと遊びを通して子どもたちの成長を育むことを目的とした活動を行っています。

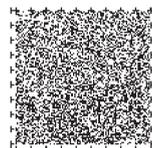
主な活動として、学級や学年を超えてともに遊んだり、読書したり、運動するなど自由に過ごす「フリータイム」、将棋・野球・おはなし会など各すまいる

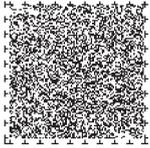


学校近隣の地域活動や児童センター、幼稚園、保育園との交流なども行っています。児童はすまいるスクールでの様々な体験を通して地域の方々とも交流を深めています。

★利用するには、毎年登録が必要となり、登録区分に応じた利用料がかかります。

詳しくは区ホームページをご覧ください。▼





# 学校改築を推進しています

区では、学校施設の老朽化や就学人口の急増などに対応するため、計画的に学校施設の改築工事を進め、教育環境の改善に努めています。

## 浜川小学校校舎棟完成

令和2年7月に改築に着手し、令和3年8月に園舎棟が完成、そこから約31カ月の工事期間を経て、令和6年3月に校舎棟が竣工しました。

浜川小学校は最大で30学級程度まで対応可能であり、義務教育学校を除く単独の小学校としては区内最大級の学校規模となります。

児童数増加への対応として校庭や体育館の他にも運動スペースを確保しており、5階プールに可動式屋根および可動床を設け、水泳指導のない期間は、人工芝を敷設することで屋内運動スペースとして利用できるような整備しました。



オフシーズンは屋内運動スペースとして活用



5階プール

## 現在、進行中の改築工事

学校・幼稚園名	工事の進捗状況等	
浜川小学校	令和6年3月 校舎竣工	同7年7月 校庭整備完了予定
第四日野小学校	令和3年7月 改築工事開始	同7年7月 校舎竣工予定
浜川中学校	令和4年8月 改築工事開始	同8年7月 校舎竣工予定
城南第二小学校	令和5年8月 改築工事開始	同9年9月 校舎竣工予定
源氏前小学校	令和6年9月 改築工事開始	同11年3月 校舎竣工予定
鈴ヶ森小学校	令和7年春頃 改築工事開始予定	同11年冬頃 校舎竣工予定

このほか、浅間台小学校では現在、改築工事に向けて基本設計を行っています。

工事期間中は、児童・生徒・保護者・地域の皆さまにご迷惑やご不便をおかけしますが、安全に最大限配慮して工事を行いますので、ご理解いただきますよう、よろしくお願いたします。

## 広告欄

### 第47回わんぱく相撲 品川区大会

「勇気・礼節・感謝」  
「わんぱく相撲」の精神

THE WANPAKU

開催概要

日程  
**2025年5月18日(日)**

参加資格  
品川区内在住または在学の小学生  
※参加のお申し込みは、後日、生徒に配布するチラシからお申し込みください

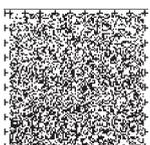
会場  
立正大学品川キャンパス(地下1階 体育館)

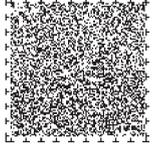
住所  
品川区大崎4丁目2-16

主催> わんぱく相撲品川区大会実行委員会  
お問い合わせ先> 品川区健康・福祉・文化・スポーツ推進課  
担当 課長 佐藤 一彦 TEL: 03-5709-2179(内線)  
E-mail: wanpakuna-jc@gmail.com

83運動にご協力ください

83運動は、小学生の登下校時刻である午前8時と午後3時には、なるべく外の用事を行いながら子どもを見守ろうという見守り活動です。登下校時刻に限らず、買い物など外に出る機会があれば、子どもの様子を気にかけて、見守り活動にご協力をお願いします。





## 令和6年度 品川区児童・生徒教育長表彰

区では、地道な活動を継続的に  
行い、児童・生徒の具体的な行動  
に良い影響を与えた取り組みにスポット  
を当てて表彰を行っています。本表彰に  
より、他の模範となる児童・生徒をた  
たえ、子どもたちが人々に感動を与える素  
晴らしい生き方を追究していくことを  
期待しています。表彰式は3月12日に開  
催する予定です。

**推薦基準**

- 1 地道な活動を継続的に、他の児童・生徒等の範となる個人・グループ
- 2 当該児童・生徒等が自ら学び考え行動した活動が契機となり、その効果が波及し、他の児童生徒等の具体的な行動や取組に良い影響を与えた個人・グループ
- 3 人命救助やこれに類する行為をして警察署・消防署等の公的な機関の長から表彰された個人・グループ
- 4 その他、SDGsの趣旨を踏まえたボランティア活動、リサイクル活動等を積極的に継続するなど、他の児童・生徒の模範となる活動を行い、表彰に値すると認められる個人・グループ

## 全国大会出場助成

区を代表して全国大会に出場する  
少年少女に対して、出場に係る  
負担の軽減と競技力等の向上を図  
り、少年少女の文化・スポーツ活  
動を推進することを目的とし、全

### 推薦基準1

- 個人
- ・第三日野小
- ・第四日野小
- 星野 葵空
- 玉腰 雄大
- 鎌瀬 清正
- 石岡 優絆
- 石岡 花紡
- 深井 晴翔
- 本村 果鈴
- 水内 南菜
- 見留 寧心
- 山中 友結香

### グループ

- グループ
- ・台場小
- ・大崎中
- ・戸越台中
- ・在原平塚学園
- ・豊葉の杜学園
- 人権委員会
- ミニボンブ隊
- 水泳部
- ボランティア部
- 雅楽部
- 地域活動部

### 推薦基準2

- グループ
- ・品川学園
- 児童・生徒会

### 推薦基準4

- グループ
- ・日野学園
- 児童生徒会

国大会出場助成を行っています。  
今年度の受付期間は、大会出場後  
30日以内・3月31日(月)までで  
す。助成の対象となる大会や対象  
者、助成額などの詳  
細については、区  
ホームページをご確  
認ください。



▲区HPへの  
リンク

## 令和6年度 教育長杯 各スポーツ大会の結果

例年、仲間づくりを通じて児童・  
生徒の身体的・精神的な健全育成を  
図ることを目的とし、少年少女ス  
ポーツ団体と区の共催事業として、  
教育長杯スポーツ大会を実施してい  
ます。今年度の結果は次のとおりで  
す(バスケットボールは、2月下旬実  
施のため、結果はホームページ等お  
知らせします)。

### ★少年野球大会(4~5月実施)

- 優 勝：富士見台中学クラブ
- 準優勝：西大井・倉田野球クラブ
- 第三位：EMクラブ、  
品川オールスターズA



▲富士見台中学クラブ

### ★少年少女サッカー大会(5~6月実施)

- 優 勝：FC PGS
- 準優勝：品川SJC
- 第三位：ユナイテッドFC城南A



▲FC PGS

### ★バレーボール大会(12月実施)

- 優 勝：立会アタッカーズV・B・C(男子)
- 準優勝：後地ウイングスV・B・C(女子)
- 第三位：二延マリンス



▲立会アタッカーズV・B・C(男子)

